

多様な経営の視点から 福祉の経営と共生の地域を創る

～先進的企業の経営戦略や市民活動の連携づくりの現状を学び、
障害者制度改革（骨格提言）の議論に応える福祉事業経営をつくる～



主 催 きょうされん栃木支部
開催日時 平成24年1月21日(土)
会 場 宇都宮市総合福祉センター

【開催趣旨】

現在、年金改革、医療制度改革をはじめ、介護保険制度では地域包括ケアシステム構築、障害福祉制度では障害者総合福祉法制定に向けた検討、保育制度では子ども・子育て新システムの導入、など各分野で制度改革に向けた動きが活発化しています。

社会福祉事業は、2000年の社会福祉基礎構造改革の「措置から契約へ」と介護保険法施行により環境が大きく変わり、その役割の基盤そのものが失われました。国民から見れば、良いサービスをしてくれるなら企業でも良いということになり、前向きに取り組まないと既存の社会福祉事業者の存在意義自体が問われかねません。

今セミナーでは、障害者自立支援法が施行されてから多様な形態による福祉への参入が可能になっている中で、斬新な方法で福祉への取り組みを行っている2団体と、街づくりの立場から福祉に関わる先進的な取り組みに関わる支援団体から報告いただきます。

障害者支援については、障害者総合福祉法の制定に向けた取り組みが始まっていますが、日頃の社会福祉事業の運営に携わっている経営・管理者にとっては、今セミナーは多くの示唆を与えてくれるものになるでしょう。

【スケジュール】

I 開会

主催者挨拶 きょうされん栃木支部副支部長
(社福) なすびの里 常務理事 渡邊 真江

II 基調提案

○「骨格提言の完全実現へ向けた私たちの課題」
きょうされん事務局次長 川久保 陽子

III パネルディスカッション

○パネラー①
NPO法人チャレンジドコミュニティ理事長
栃木県中小企業家同友会 就労支援委員会委員長 金井 光一 氏
② 自社の取組報告、他機関・団体との連携
② 制度改革(骨格提言)の労働と・雇用の課題と展望

○パネラー②
株式会社モード・ライラック
障がい福祉サービス事業所“益子マインド”代表 坂本 士郎 氏
② 自社の取組報告
② 制度改革(骨格提言)の労働と・雇用の課題と展望

○パネラー③
NPO法人宇都宮まちづくり市民工房

宇都宮市まちづくりセンター所長

安藤 正知 氏

- ② NPO や社会福祉法人への支援活動の報告
- ② NPO や社会福祉法人の連携へのアドバイス

○コーディネーター

きょうされん栃木支部副支部長
NPO法人はばたき 理事長

広瀬 浩

○アドバイザー きょうされん事務局次長

川久保 陽子

IV 閉会挨拶

きょうされん理事
(社福) こぶしの会 就労支援部長

白井 郁子

資 料